



ろう者ととともに歩む地域の輪～手話サークルたんぽぽ

和歌山市で県内初の手話サークルとして設立され、現在も活動を続ける「手話サークルたんぽぽ」。歴史や現在の活動などについて副会長の津村雅稔さんにお聞きしました。

手話サークルの立ち上げ
サークルの始まりは1970年9月。県立和歌山ろう学校の生徒と寄宿舎の寮母が学習会を立ち上げたことにさかのぼります。そこに聴覚障害のない「聴者」も加わり、共に学ぶ場が築かれてきました。



津村さん自身は、手話への関心から和歌山

が和やかで、気負わずに学べるところが魅力

例会の様子
津村さんは、たんぽぽの活動を続けていくことと自分が何より大切、と継続の意義を強調します。

「手話べり」体験のお誘い
たんぽぽの日々の取り組みのひとつが、手話で気軽に会話を楽しむ「おしゃべり」です。単語学習やゲーム、ろう者の生い立ちから学ぶこと、防災学習など内容は幅広く、身ぶりや表情も活用したコミュニケーションを通じて手話べりを楽しんでいます。

交流から活動の継続
活動は学習だけでなく、和歌山市聴覚障害者協会との合同クリスマス会や納涼会、日帰りのバスツアー、周年行事など多彩な取り組みを通じて、ろう者と聴者が自然に交流できる機会を大切にしています。また、OB・OGとのつながりも、世代間交流も大切にしています。



懇親会の様子

県の手話通訳者養成講座を受講した際に「たんぽぽ」を知り、入会しました。津村さんは、霧囲気が和やかで、気負わずに学べるところが魅力



サークル設立50周年・55周年記念イベントから

手話サークルたんぽぽ

参加希望の方は例会に見学にお越しください。
なお、例会開催の有無につきましては、和歌山市ふれ愛センターにお問い合わせください(073-433-8866)。

第19回和歌山地域貢献活動応援基金 わかやまいきいきファンド

助成団体募集！

設立すぐの団体でも応募可能！「はじめての助成金」応募に最適！

全国の花王グループ社員有志のみなさんが、毎月1口50円を任意の口数積み立て、全国各地のNPO・ボランティア団体の支援や被災地支援などを行なう「花王ハートポケット倶楽部」。“わかやまいきいきファンド”は、同倶楽部が和歌山県内でがんばるNPO・ボランティア団体を対象とした活動助成をおこなうプログラムです。これまでに130を超える団体が助成を受けています。
このたび第19回の助成プログラムの助成団体を募集いたします。みなさまのご応募をお待ちしております。

募集部門

スタートアップ支援事業

活動歴2年未満の団体が対象。
5万円を4団体に助成します。

パワーアップ支援事業

活動歴2年超の団体が対象。
10万円を3団体に助成します。

- ◆ 応募用紙はA4用紙2～3枚。補足資料はA4判2枚まで付けられます。
- ◆ 地域コミュニティ活性化につながる内容であれば、活動分野は問いません。
- ◆ 対象事業の実施期間は **2027年1月から2027年12月まで**。
- ◆ 活動の様子はブログまたはInstagramやFacebookなどSNSでご紹介ください。
- ◆ 2028年2月を目途に事業報告・決算報告を提出いただきます。

応募方法

わかやま NPO センターのウェブサイト (https://wnc.jp/works/11664) から募集要項と応募用紙をダウンロードし、応募用紙に必要事項を記入いただき、ご応募ください。右のQRコードからもアクセス可能です。



募集期間

2026年7月10日(金)～2026年8月21日(金) 消印有効

応募は郵送・FAX・電子メールのいずれかで受け付けます。

〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12 わかやま NPO センター

FAX 073-435-5425 E-mail info@wnc.jp

関連事業・応募に関するご相談

助成金講座のYouTube 見逃し配信受付中！（無料）

7月18日(土)に実施した助成金講座について、YouTube 見逃し配信を実施します。見逃し配信ご希望の方は右のQRコードからお申し込みください。準備ができ次第、配信URLをお送りします（講座参加は応募の必須事項ではありません）。

応募書類作成に関するご相談は和歌山県 NPO サポートセンター（和歌山ビッグ愛9階）で承ります。

TEL 073-435-5424 E-mail info@wakayama-npo.jp

オンライン相談もOK！お気軽にご相談ください。



2024年度採択(2025年度実施)団体の活動より一部ご紹介



地産地消の料理教室やフェアトレードなどに関する学習会を実施し、地域で実践できる持続可能な消費行動について学ぶ機会を提供しました。



障害の有無にかかわらず参加できる子ども向け和太鼓教室を運営。保護者同士の交流もでき、地域の居場所のひとつになりつつあります。